

(別添 2)

単式簿記方式における様式 (目次)

(会計細則第 9 条及び第42条による様式)

1 事業報告書等の様式

(1) 事業報告書の様式 . . . . . 様式 1

(2) 収支予算書及び収支決算書等の様式

収支予算書 . . . . . 様式 2

補正収支予算書 . . . . . 様式 3

収支決算書 . . . . . 様式 4-1

収支決算書に対する注記 . . . . . 様式 4-2

財産目録 . . . . . 様式 5

2 会計帳簿の様式

(1) 会計主要簿及び命令様式等

金銭出納簿 . . . . . 様式 6

収入整理簿 . . . . . 様式 7

支出整理簿 . . . . . 様式 8

収入命令 . . . . . 様式 9-1

支出命令 . . . . . 様式 9-2

金融口座振込 . . . . . 様式 9-3

請求書・領収書 . . . . . 様式10

(2) 補助簿

賦課金 (賦課区分別) 台帳 . . . . . 様式11-1

賦課金 (個人別) 徴収原簿 . . . . . 様式11-2

賦課金通知書 . . . . . 様式11-3

夫役現品 (賦課区分別) 台帳 . . . . . 様式12-1

夫役現品 (個人別) 徴収原簿 . . . . . 様式12-2

夫役通知書 (現品) . . . . . 様式12-3

賦課金再通知書 (夫役現品) . . . . . 様式12-4

納入告知書 . . . . . 様式13

補助金 (交付金及び助成金) 台帳 . . . . . 様式14

受託金台帳 . . . . . 様式15

その他未収金台帳 . . . . . 様式16

未払金台帳 . . . . . 様式17

工事総括簿 . . . . . 様式18

請負工事簿 . . . . . 様式19

直営工事簿	様式20
事業用地買収補償簿	様式21
工事用資材受払簿	様式22
労務者出役簿	様式23
土地改良施設台帳	様式24
固定資産台帳（土地改良施設を除く）	様式25
区債及び借入金台帳	様式26
その他資産負債台帳	様式27
備品台帳	様式28
消耗品受払簿	様式29
積立金台帳	様式30
退職給与金要支給額台帳	様式31

### 3 会計伝票等の様式

#### 収支計算出納用

入金伝票

出金伝票

#### 収支計算外出納用

入金伝票

出金伝票

集計表（証拠書類用）

# 様式 1

## 平成 年度 事業報告書

平成 年 月 日調製  
 ○○○○○土地改良区

### 第1 地区及び組合員の状況

#### 1 地区 総面積 ヘクタール

事業別	年度別地積	前年度末地積	本年度末地積	比較増減	本年度賦課地積

#### 2 組合員 総数 名

居住別	年度別員数	前年度末	本年度末	比較増減	附記
合 計					

(注) 居住別欄には「何町居住」と記載するが、総代の選挙区が設けられている場合には、選挙区別とすること。

附記欄には、比較増減の理由その他例えば組合員の所有地・借地別、関係事業別等必要と認めた事項を記載すること。

組合員のほか、准組合員又は施設管理准組合員がいる場合は、2の次にこれらに関する表を追加すること。

### 第2 事業の状況

#### 1 土地改良施設の維持管理の状況

##### (1) 用水補給の状況

【例】本年度の○○機場の運転状況は、前期は適度な降雨があったものの昨年度に比較してポンプの運転日数及び運転時間が微増となった。また、後期は8月の降雨量が多かったため、昨年度に比較して運転時間が一割程度減少した。全体的には、地区内の土地へ比較的順調に配水することができた。

平成 年度 ○○揚水機場ポンプ運転状況

月 別	運転日数	運転時間	使用電力量	備 考
月	日	時間 分	KW	
月				
月				
月				

(2) 維持管理の状況

ア 用排水路の維持について

【例】用排水路の維持については、例年どおり、幹線水路は本区職員による直営又は請負により実施し、支線水路等は地元管理組合等から資材及び労務の提供などの協力を得て、草刈り、浚渫及び補修等を実施した。

また、維持管理事業についても、補助金を導入して計画的に工事を実施すべく、土地改良施設維持管理適正化事業に加入している。

主な請負工事として、次の工事を実施した。

① 土地改良施設維持管理適正化事業

工 事 名	事業費	工事場所	工 事 内 容	請負業者名

② 浚渫・清掃

工 事 名	事業費	工事場所	工 事 内 容	請負業者名

③ 草刈、清掃：幹線排水路・○○水路及び○○排水路

L=○○, ○○○m      A=○○, ○○○m<sup>2</sup>

④ その他の工事：○○排水路護岸補修工事等

イ 堰・樋門の維持について

【例】堰・樋門のうち、本区が直接管理していないものについては、操作等の通常の管理業務を例年どおり関係自治会、実行組合等と管理協定を締結して委託した。また、軽微な補修・注油等の保守点検については、本区職員が行い、操作の円滑化と機能の保全に努めた。

ウ ポンプ施設等について

【例】 ポンプ施設等については、例年どおり配水開始前に各揚水機場を点検整備し、用水の円滑な送水確保に努めた。

なお、実施した主な補修・改修工事は次のとおり。

- ① ○○揚水機場：吸水位低下警報機設置工事
- ② ○○揚水機場：電動機ベアリング取替工事

エ その他

【例】 管理上支障となる本区農道等に放置された車両や不法投棄されたゴミを撤去して、地域の環境整備にも貢献している。

また、近年本区管理の水路への油等の不法投棄が増加傾向にあるため、巡視体制を強化するとともに、市町村に対し、違反者に対する立ち入り検査の要請をするなど、不法投棄の再発防止にも努めた。

さらに、○○用水路のフェンス設置工事を実施し、安全対策にも配慮した。

2 土地改良事業（維持管理事業を除く。）工事の施行状況

(1) 本年度工事の概要

① 団体営○○事業（○○地区）

工 事 名	事業費	工事場所	工 事 内 容		請負業者名

② 団体営○○事業（○○地区）

工 事 名	事業費	工事場所	工 事 内 容		請負業者名

3 事業による受益の状況

【例】 ○○幹線用水路は、老朽化により各所で漏水が起こっていることから、平成○年度に県営かんがい排水事業として改修工事に着手している。本年度末においては、全体○○○mのうち、○○メートルの工事が終了した。

【例】 ○○排水路は、経年による護岸の損傷が目立ち、このまま放置すると護岸の崩壊が危惧されるため、本年度、○○事業により護岸工事を実施して完了し、農地からの円滑な排水を確保した。

4 県営事業の進捗状況  
 県営〇〇事業（〇〇地区）

工 事 名	事業費	工事場所	工 事 内 容		請負業者名

第3 事務の経過

1 総代会の開催及び議決状況の概要

年 月 日	区 分	開催場所	出席者数	付 議 事 項

2 理事会の開催及び議決状況の概要

年 月 日	区 分	開催場所	出席者数	付 議 事 項

3 監事会の開催及び議決状況の概要

年 月 日	区 分	開催場所	出席者数	付 議 事 項

4 〇〇委員会の開催及び議決状況の概要

年 月 日	区 分	開催場所	出席者数	付 議 事 項

第4 経理の状況

1	ア かんがい施設の維持管理費	円
	内訳 1 事務費	円
	2 維持管理費	円
	イ 用排水施設の新設	円
	総予算額	円
	本年度支出額	円
	内訳	
	自己資金	円
	補助金	円
	借入金	円
	支出額累計	円
	総予算の○%	円
	ウ 区画整理	円
	総予算額	円
	本年度支出額	円
	内訳	
	自己資金	円
	補助金	円
	借入金	円
	支出額累計	円
	総予算の○%	円

2 借入金

工事名	借入先	借入 年月日	利率	借入金 総額	償還 期限	当該年度 償還額	償還額 累計	未償還額

3 一時借入金

借入先	〇〇農協（銀行）
借入年月日	平成〇年〇月〇日

借入額 円  
利率 年〇. 〇%  
償還年月日 平成〇年〇月〇日  
支払利子 〇〇日間 円

4 賦課金の納入及び滞納状況

賦課金種目	年度	調定額	徴収済額	未収額	徴収率
〇〇賦課金					
〇〇賦課金					

注 事業別及び期別に記載すること。



様式 2

平成〇〇年度収支予算書

収入

(単位：千円)

科 目 (款 項)	説明種目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		附 記
				増	減	

借入金限度額 \_\_\_\_\_ 千円

債務負担額 \_\_\_\_\_ 千円

支出

科 目 (款 項)	説明種目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		附 記
				増	減	

(記載上の注意) 科目の款項順は、おおむね科目例の順によること。

様式 3

平成〇〇年度補正収支予算書

収入

(単位：千円)

科 目 (款 項)	説明種目	当 初 予算額	補 正 予算額	比 較		附 記
				増	減	

支出

科 目 (款 項)	説明種目	当 初 予算額	補 正 予算額	比 較		附 記
				増	減	

(記載上の注意) 科目の款項順は、おおむね科目例の順により、補正のない科目についても計上すること。

様式 4 - 1

平成〇〇年度収支決算書

収入

(単位：千円)

科 (款)	目 項)	説明種目	予算額	決算額	比 較		附 記
					増	減	

支出

科 (款)	目 項)	説明種目	予算額	決算額	比 較		附 記
					増	減	

(記載上の注意) 科目の款項順は、おおむね科目例の順によること。

様式 4 - 2

収支決算書に対する注記

- 1 資金の範囲
- 2 資金の範囲の変更有無等  
(変更の有無、変更による影響額)
- 3 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金		
〇〇〇		
.....		
合 計		
〇〇〇		
.....		
合 計		
次期繰越収支差額		

- 4 予算額と決算額の差異が著しい科目  
(科目、その理由)
- 5 科目間の流用及び予備費の使用  
(科目、金額)
- 6 その他収支の状況に関する特記事項

様式 5

財 産 目 録

平成 年 月 日現在

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
流動資産合計		
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
(2) 無形固定資産		
固定資産合計		
3 その他固定資産		
(1) 基本財産		
(2) 特定資産		
その他固定資産合計		
資産合計		
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		
2 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		

(記載上の注意) 款項の順は、おおむね財産目録科目例の順によること。  
金額欄のうち右の2列には仕切り線を入れ、款の計、さらに部の計を表記すること。